

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2022 ▶ 2023

Rotary



# 鳥取北ロータリークラブ

● 会長……千金 周一 ● 副会長……入江 容子 ● 幹事……寺本 光孝  
 ● 会計……霜村 哲男 ● SAA……田中 和夫 ● 広報・プログラム委員長……水野 治郎



イマジン  
ロータリー

例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■ 創立: 昭和36年2月23日 ■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

国際ロータリーのテーマ

E-mail [kitarc@infosakyu.ne.jp](mailto:kitarc@infosakyu.ne.jp) <http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/>

本日の例会

2022年9月6日(火) 四つのテスト 第2954回  
 ◆ 君が代・奉仕の理想 ◆ 会員卓話  
 ◆ 献立 谷口昭二さん  
 100万ドルミール(洋) 磯部紗希さん  
 ◆ 委員会事項 ※ 例会終了後、定例理事会「例会場」  
 誕生日御祝

次週の例会

2022年9月13日(火) 四つのテスト 第2955回  
 ◆ ロータリーソング ◆ 卓話  
 我らの生業 「念珠」  
 ◆ 献立 和食 京都念珠 たまや  
 山崎大輔 氏

## 先週の例会

### 会長挨拶

先週はガバナー公式訪問例会を開催するにあたり、SAA、親睦委員会、WEB推進特別委員会の皆様ご苦勞様でした。例会の開催にあたっては役員会の方でも打ち合わせを重ねてきました。しかし開催にあたり一番苦勞されたのは例会を仕切るクラブ奉仕担当の各委員会の皆さんだったと思います。イレギュラーな会場であるシティホテルでの開催という事もあり、事前からの準備も含め色々忙しかったと思います。

私としてはクラブ協議会、公式訪問例会という行事が無事に終わり少しほっとしているところです。しかし各事業系の委員会は正にこれからが本番です。地区補助金を使って行われる里山整備事業も継続事業として6年目を迎え、森下委員長がこの事業をどのように広げていくのかというのも楽しみです。また塚田委員長率いる青少年奉仕委員会がローターアクトの問題にどう取り組んでいくのかも楽しみです。国際奉仕委員会の松本委員

2022年8月30日(火)

長からは5クラブ共同でのロータリーデーへの取り組みが提案されており、色々新しい事が始まろうとしています。

そのような新しい取り組みを控える各委員会の皆さんには是非この時期にIDMを開催していただきたいと思います。毎週の例会運営に関わるクラブ奉仕担当の委員会の皆さんも忙しいですが、新しい取り組みを考える事業系の委員会の皆さんもこれから忙しくなると思います。幸いIDMにはクラブからの補助もありますし、何より話し合いの場を持つことが委員会の活性化には一番だと思いますので宜しくお願いいたします。

本年度の役員は何かと顔を合わせ役員会を開催しています。また役員でLINEグループをつくり幹事が中心となって役員意見を拾いあげています。その点では本年度の役員会は活性化していると思われます。各委員会におかれましても活発な意見交換が行われる事を期待しております。

### 幹事報告

#### 1 到着文書

- ・ロータリーの友事務所より、2022-23年度ロータリーの友手引書
- ・米山梅吉記念館より、館報 秋号
- ・廣田ガバナー補佐より、地区大会追加登録のお願い (大会登録数70%達成への協力) 締切り (8/30)

- ・鳥取市立若草学園より、令和4年度後援会総会資料
- ・東部5ロータリークラブ親睦ゴルフコンペ開催日案内  
10月30日(日) 申込期限: 9月30日 ゴルフ同好会より

## 2 例会変更・メーカー情報

・米子南RC

9月12日(月) 夜間例会

\*ビジター受付あり

## 3 その他連絡事項

地区大会締め切り、本日中に。

## 委員会事項

### ◎出席率報告

8月30日 会員48名中 欠席12名 75.00%  
(zoomなし)

### ◎ゴルフ同好会湊幹事より

10月30日に東部5クラブ合同ゴルフコンペを行います。たくさんの参加をよろしくお願い致します。

### ◎入会記念日御祝

田村博信さん(12年) 岡田克夫さん(11年)

米澤信也さん(8年) 足立日出男さん(3年)

### \*スマイル報告

(本日5,000円 累計 116,000円 前回111,000円)  
千金周一さん ①本日は今シーズン初の外部卓話です。智頭急行株式会社の城平社長様、よろしくお願い致します。②9月より丸由百貨店となります。今後も宜しくお願い致します。

入江容子さん 城平守朗様、本日の卓話楽しみにしております。

寺本光孝さん 先週のガバナー公式訪問例会時には皆様にお世話になりました。又、前日、当日と設営して頂いた方々ありがとうございました。

玉木裕一さん 先日、大阪府知事の吉村洋文さんと、大阪市長の松井一郎さんとお話させて頂きました。鳥取と大阪の益々の発展の懸け橋になりたいと強く思いました。

※2大御祝(本日2,000円 累計24,000円 前回22,000円)

田村博信さん 入会記念日

## 卓話

### 「将来の鉄道像を考えるに当たって」

智頭急行株式会社 代表取締役社長 城平守朗 氏

2014年度のJR北海道の線区別収支の発表を皮切りに、2019年度にJR九州が、2020年度にはJR四国がそれぞれ発表し、3島会社の経営基盤の脆弱性が指摘されてきました。2022年度に入り、これまでそういった発表を行ってこなかったJR西日本、JR東日本でも地方ローカル線に関する情報開示の動きが相次



ぎました。背景として挙げられるのは、地方ローカル線の赤字をアーバン区間の収益からの内部補助で支えるという構造の破綻です。地方ローカル線のあり方について指摘されてきた課題が、コロナ禍で早期に顕在化したとされています。

国は2022年2月、JR西日本の発表に先立って「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」を開催し、7月には、第三セクターを除く輸送密度1000人/日未満の区間に関して、鉄道事業者、自治体等による協議会の設置と国の関与を提言しました。鳥取県の路線では、山陰本線の鳥取～浜坂間及び因美線の智頭～東津山間がこの提言に該当し、今後の動向が注目されています。

これまでも日本の鉄道には、1987年の国鉄民営化、第三セクター鉄道への移管をはじめとして様々な変化が求められてきました。上下分離もその変化の一つです。上下分離とは「列車の運行を担う主体と、鉄道インフラの維持管理を担う主体を別の者とする仕組みのこと」です。既に10社が上下分離に移行しており、3社が移行決定済みです。

そういった状況を踏まえて、今回は、上下分離をとっていない弊社と、上下分離に移行した若桜鉄道(八頭町・若桜町が鉄道車両・土地・鉄道施設を保有する第二種鉄道事業者)、信楽高原鐵道(甲賀市が鉄道車両・土地・鉄道施設を保有する第二種鉄道事業者)、北近畿タンゴ鐵道(WILLER TRAINSを第二種鉄道事業者として、鉄道車両・土地・鉄道施設を保有する第三種鉄道事業者)の例を取り上げました。

また、海外事例としてスウェーデンを取り上げました。旅客の輸送密度が日本に比べて低いスウェーデンでは、幹線も含めて全ての路線が上下分離方式です。地方路線については競争入札により、私企業に運行を任せ、その運行経費の半分を県の交通局が担うという構造をとっています。

今後、この度の国の提言、滋賀県の交通税等様々な観点での議論が全国的に進んでいくと思われます。鉄道の将来像を考えることは、地域と私たちの将来像を考えることとも言えます。この卓話が、皆さんそれぞれが地域の鉄道の将来像を考えていただく際の一助になれば幸いです。

卓話終了後、質問コーナーがありました。

(担当 水野治郎)